

## 期 末

加藤 誓 (ちかい)

道路を掘り起こす削岩機の音が断続して鳴り響いている。  
新聞では、卒業式もコロナ禍で何かと大変なようである。

仕事を卒業した私でも期末は何かと忙しい。老人会総会の資料作り。行事報告は手帳などで確認するが、今年度は変更や中止が多く、あちこちの資料をひっくり返し思い出すのに苦勞する。会計も外の道路工事のように、助成金の使い道に色々と頭を使う。その上、係である「老人会趣味の作品展」の開催が期末となり、資料作りやその変更訂正作業など準備に追われている。ゴルフ会も期末開催で事務局の務めがある。



誤解されるといけないので述べるが、これらの作業は苦痛どころか「パソコンのゲーム」感覚で忙しい程、量が多い程、楽しんでいるのであるが。(今日、用がある楽しみ)

そんな矢先、女房が突然右足の筋が攣り、痛みのため歩行不能。

「済みません。足が痛くて行けませんので予約取り消しをお願いします。」と整形外科へ TEL。「健康でないと医院に行けない。」とは。

笑ってはいられない。おかげで、炊事洗濯、買い物までする羽目に。

スーパーでの買い物も、何処に物があるか店員さんに尋ね、支払いも自分で操作するシステムに戸惑い、また、店員さんに尋ねると「ゆっくり、画面を読んだらできますから。」と諭され、周りの女性群の微笑に余計焦ってできない。土、日のグラウンド・ゴルフも期末あせりなのか、いつもの調子が出ず凡ミスをする。

ガソリンの値段が上がり株は暴落。BA.2 オミクロンとやらで、一向に感染者数が減らない。

プーチンによる期末（世紀末）だけにはならない事を祈らなければならない。

それもこれも、春霞のようなモヤモヤは、全て「期末という魔物」の所為であると勝手に思っている。

そして、それが終われば気持ちも新たな希望ある4月がやって来るはずだとも。